

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和3年7月)

～3度目の緊急事態宣言の解除、ワクチン要因等で現状判断は上昇～

- 景気ウォッチャー調査・6月調査の近畿地域の結果は、現状判断が49.7と前月比で3か月連続の上昇となったが、指数は景気横ばいを示す50を37か月連続で下回った。一方、先行き判断は46.2と3か月ぶりの低下となっている。
- 足元の景気については、6月下旬から緊急事態宣言がまん延防止等重点措置に切り替わり、百貨店や大型商業施設などの営業が再開されたことで、全体としてはやや上向いている。また、7月23日の東京五輪の開幕を受け、一部で家電関連やスーパー等での需要増がみられるほか、さまざまな業種で心理面でのプラス材料に挙げられている。
- ただし、飲食店等では時短営業が続いているほか、7月後半からは新型コロナの感染の再拡大も始まるなど、改善の動きそのものは限定的となっている。ワクチン接種による効果も、一部でプラスに働きつつあるものの、足元の供給不足による失望の声も少なくない。
- 一方、先行きについては、8月2日から4度目の緊急事態宣言が発出されたことで、外食や宿泊関連を中心に、経営への深刻な影響が不安視されている。都市部の往来減少による、百貨店やコンビニといった物販関連からも不安の声は多い。加えて、東京五輪による感染への影響が取りざたされる中、閉幕後の感染の推移にも注目が集まっている。
- 依然として感染の収束時期がみえない中、ワクチン効果への期待は引き続き高い。足元の供給不足もいずれ解消されるとの見方から、接種率が一定の水準に到達した段階で、景気の回復も本格化すると期待の声が聞かれる。

「五輪」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	やや良くなっている	一般小売店 [時計] (経営者)	・今月も来客数が非常に少なかったが、少し前の修理代金の入金があったため、売上としては若干良かった。ただし、それ以外は良い材料が全くなく、人流の抑制や東京オリンピックの自宅での観戦、暑さによる出控えといった悪い条件がそろったため、営業を続けるのが厳しい状況である。
		百貨店 (企画担当)	・東京オリンピックをテレビで観戦する動きや、新型コロナウイルスの感染拡大により、4連休以降はそれ以前と比較して悪化傾向にある。
		百貨店 (営業推進担当)	・東京オリンピックの開幕前は、来客数が回復傾向となっている。
		コンビニ (経営者)	・コロナ禍の下で東京オリンピックが開催されていることもあり、いろいろな制限や矛盾はあるが、外出や旅行といった娯楽を、少しずつ楽しむようになってきたと感じる。
		家電量販店 (人事担当)	・梅雨が長引いたため、エアコンの販売量は余り増加していないが、東京オリンピック需要ともいえる、大型テレビや大容量BDレコーダーなどの販売増加でカバーしている。猛暑日が増える今後に期待している。
		その他専門店 [ガソリンスタンド] (経理担当)	・ワクチン接種が進み、人の流れが増えている。特に、東京オリンピックに伴う連休では、前年を上回るガソリンの出荷となっている。
		通信会社 (社員)	・コロナ禍も少し和らいでおり、以前よりもテレワーク関連の問合せは減少している。ただし、今年の夏休みの旅行需要などがまだ回復していないため、テレビの買換えが増えている。東京オリンピック関連の問合せや、ケーブルテレビの多チャンネル化、定額制の動画配信サービスなどの加入申込みが増えている。
		テーマパーク (職員)	・夏休みに入るなど、行楽シーズンではあるものの、例年どおりとはいかない。ただし、東京オリンピックも始まり、何となく世の中の空気が明るくなり始めているため、その雰囲気うまく乗りたい。

家計動向関連	変わらない	スーパー（店長）	・職業によってコロナ禍や東京オリンピックの影響が異なる。当店の時間帯別売上は変化が大きく、影響が読みにくい。
		スーパー（企画担当）	・大阪ではまん延防止等重点措置の適用が続くなか、東京オリンピックも始まった。自宅での観戦で食品の需要も増えると予想されたが、暑さの影響もあり、来客数に影響が出ている。ただし、7月28日の土用のウナギは、前年を上回る売上が確保できている。
		スーパー（経理担当）	・まん延防止等重点措置が続いた後、緊急事態宣言への移行が進むなか、東京オリンピックもあって内食需要は増加が続き、売上は高止まり状態にある。好調であった前年と比べても、ほぼ同じ水準となっている。
		コンビニ（店長）	・東京オリンピックが開催されて、人の動きが活発になっている。
		その他専門店 [宝石]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、環境としては非常に悪いが、東京オリンピックの開始でムードは良い。
		その他専門店 [スポーツ用品]（経理担当）	・東京オリンピックが無観客となったことで、入場料収入の減少が経済に及ぼす影響は軽微だとしても、観光業への影響は、設備投資などへの波及を考えると、景気の悪化要因となりそうである。
		旅行代理店（支店長）	・東京オリンピックが無観客となり、東京では緊急事態宣言も発出されたことで、客の旅行マインドは低く、申込みの動きにもつながらない状況が続いている。
		タクシー運転手	・東京オリンピックを強行した影響で、今まで自粛していた消費者が外出を始めている。その影響が新型コロナウイルスの感染者数の推移に反映されている。景気の現状も良くない。
	やや悪くなっている	スーパー（経営者）	・前半は雨が多く、後半は新型コロナウイルスの感染拡大などで来客数が減っている。東京オリンピックが始まり、総菜や酒類の購入が増えるなど、家での観戦需要は高まっているが、鮮魚や精肉、米といった調理を伴う食材の動きが悪い。調理素材のウエイトが高い業態では、東京オリンピックの恩恵がなかなか感じられない。
家電量販店（店員）		・前年に比べて、来客数は減少傾向にある。東京オリンピックの開催で在宅率が上がっており、季節商材の動きも厳しい状況である。	
悪くなっている	住関連専門店（店長）	・営業への規制が一旦終わり、客足が戻りかけたが、豪雨や猛暑、東京オリンピック、新型コロナウイルスの感染拡大など、プレーキの掛かる要素が重なり、再び悪い状況に逆戻りした。近年の実績からすると、猛暑や豪雨などの影響は災害並みとなる。毎年起きることを前提に計画を立てなければ、事業がより困難となる。	
企業関連	変わらない	金融業（営業担当）	・コロナ禍のなか、業況が改善している業種もあれば、営業をやめる業種もある。東京オリンピックの開催中に新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、先行きが不安である。
	なっている やや悪くなる	食品製造業（従業員）	・東京オリンピックの観戦で自宅での需要が増えると期待していたが、連日の猛暑が響いたのか、当社の商品は売上がマイナスとなっている。
雇用関連	やや良くなっている	新聞社 [求人広告]（営業担当）	・ワクチン接種や、東京オリンピックの開催を受けて、世の中の雰囲気は上向いていると感じる。それに伴い、人や企業の動きも増えてきている。

「ワクチン」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	やや良くなる	一般小売店 [珈琲]（経営者）	・ワクチン接種率の上昇に伴い、人の動きが戻ると予想される。
		百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルスの感染の沈静化が期待できる。それに伴い、来客数も増えることから、現状よりも良くなるのが予想される。ただし、新型コロナウイルス発生前のライフスタイルには戻らず、売上も戻らないと考えられるほか、取引先も商品供給の抑制を図るなかで、大幅な改善は期待できない。
		百貨店（企画担当）	・ワクチン接種が行き渡るため、良くなる予想しているが、直近の新型コロナウイルスの感染拡大状況をみると、簡単にはいかないとも感じられる。
		百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加は続くが、ワクチンの接種が進むことで、病床の利用率や重症者数が大きく増えないことが予想される。また、ワクチンを接種済の客を中心に、抑えられていた消費マインドが活発化してくる。
		百貨店（販売推進担当）	・秋にはワクチン接種もかなり進む。旅行者などが増えれば、それに伴って関連商材の売上も上向きになると期待している。
		百貨店（外商担当）	・ワクチン接種につき、百貨店の主要客である高齢層がほぼ完了となるほか、中年層の接種も進むことから、新型コロナウイルスの感染が抑えられ、消費意欲の向上が予想される。
		百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、東京オリンピックは無観客で開催されている。関係者や市民の感染防止などの動きが抑制効果となり、消費へのプラス効果はかなり控えめとなる見通しである。またワクチンの接種は、供給の減速でペースダウンしている。コロナ禍以前の日常生活を取り戻すのはまだ先となるなか、秋の衆議院選挙も絡み、景気の回復には時間を要すると予想される。
		百貨店（販促担当）	・ワクチン接種が更に進み、新型コロナウイルスの重症者数が増えなければ、消費の増加が期待できる。秋口の衆議院選挙も控え、景気対策の実施にも期待できる。それに伴い、秋～冬に掛けては本格的な消費の反動増が期待でき、御褒美消費などにスポットを当てた品ぞろえで需要を喚起したい。

家計動向関連

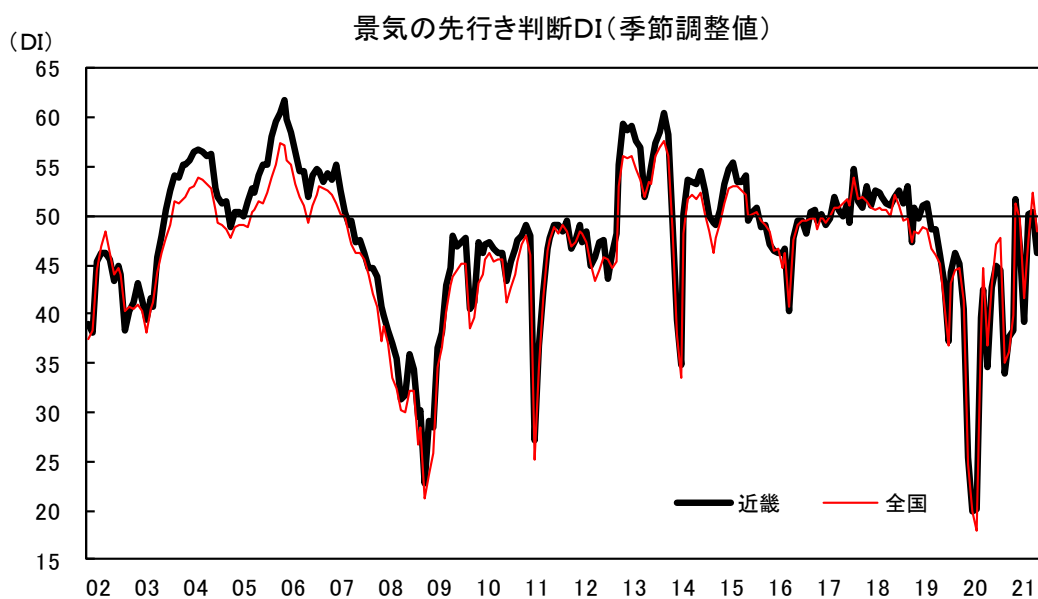
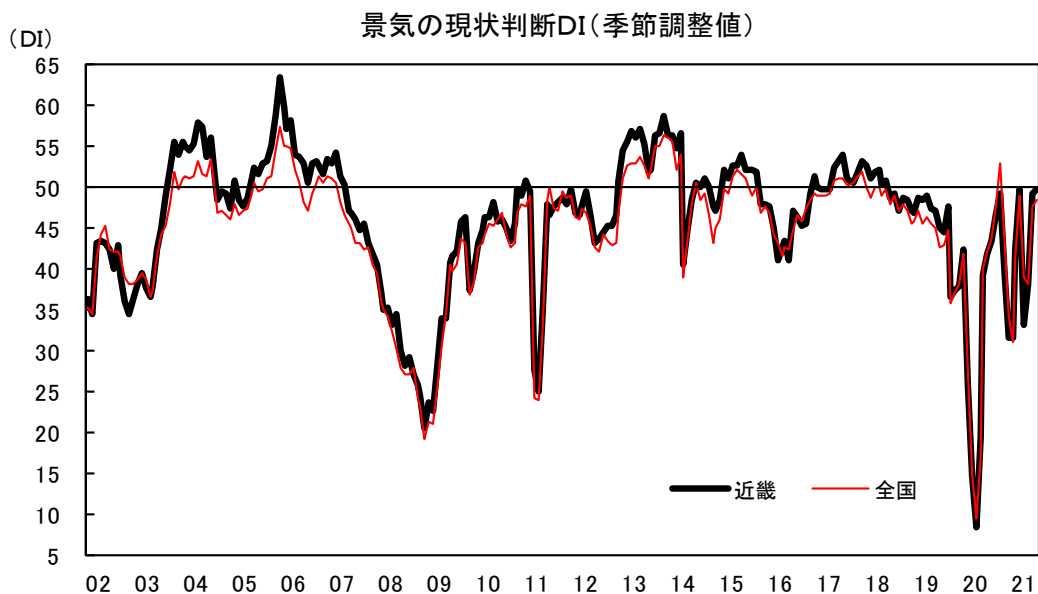
やや良くなる

変わらない

百貨店（服飾品担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているものの、ウイルスへの慣れで、客の心理が前向きになっている感覚もあり、ワクチン接種後の来店が徐々に増えている。まだ予断は許されないが、ネット通販やリモート販売といった新しい買い方が浸透する一方、やはり店頭での買物体験を楽しみたいというニーズによって、買上率の上昇につながっている。
百貨店（マネージャー）	・ワクチン接種が20～30代でも進み、新型コロナウイルスの感染者数が減少に向かえば、消費が戻ってくると予想される。
百貨店（売場マネージャー）	・当店の商圏内のほか、和歌山県全体でもワクチン接種が進んでおり、接種を終えた65歳以上の客が増えつつある。今後は来客数の増加とともに、旅行用品や身の回り品などの消費拡大につながってくる。
コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響は出るものの、ワクチン接種などが進み、以前のような悪化が続くとは考えられない。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・ワクチン接種が進み、人流や消費が増えるため、少しずつ景気は回復していくと予想される。
高級レストラン（企画）	・ワクチン接種による旅行需要の回復のほか、Go Toキャンペーン、自治体による観光支援事業の再開により、やや良くなる。
都市型ホテル（総務担当）	・ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルスの感染による死亡者数も減少する。安全を確保することで、人の往来も少しずつ増えると予想される。
都市型ホテル（客室担当）	・東京オリンピックによる新型コロナウイルスの感染拡大は気になるが、ワクチンの接種率が上がれば、抑えられていた観光需要が回復する。
タクシー運転手	・自粛疲れや、ワクチン接種による安心感もあり、外出が増えつつある。新聞をみても、旅行の折込チラシが増えているため、今後はホテルや駅周辺の人の動きに期待している。
観光名所（経理担当）	・10月に入れば、若い世代もワクチンを1回は接種できると予想される。接種したくてもできないという、今の状況とは異なるため、更に新型コロナウイルス感染症の収束への期待が広がってくる。
ゴルフ場（支配人）	・ワクチン接種が進み、東京オリンピックも無事に終了すれば、生活は安定し、景気も良くなる方向となる。
その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・ワクチン接種が進むことにより、外出の意欲が高まる。
住宅販売会社（総務担当）	・ワクチン接種の増加に伴い、客の動きが少し始めている。
その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・2～3か月後には、ワクチン接種が進んでいることを期待し、少しは生活環境にも良い変化が出てほしい。
一般小売店〔時計〕（経営者）	・季節が変わり、マスクをしていても少し過ごしやすくなるが、ワクチン接種が若年層にどの程度広がるのか、全く予想がつかない。4回目の緊急事態宣言が発出されるため、景気を含めた日々の生活について、先行きは楽観視できない。
百貨店（マネージャー）	・全国的な新型コロナウイルスの感染第5波の拡大が懸念されるなか、緊急事態宣言が再発出されるおそれがあり、業況の業種間格差が明確になると予想される。小売や流通関連では、ワクチン接種による心理的なプラス効果もあるが、一進一退の状況が続く必要がある。
百貨店（店長）	・ワクチンの接種状況次第である。若年層の人流が変わることはないため、新型コロナウイルスの感染率が下がらない限り、景気は変わらない。
百貨店（特選品担当）	・現時点では先行きが全く分からない。業況が良くなり始めたら、緊急事態宣言が発出されるという繰り返しであり、ワクチン接種が進んでも、新型コロナウイルスの変異株が新たに出現して猛威を振るう。小売業という視点からは、正直なところ、将来が全く見えない。
スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株の感染拡大は不安であるが、ワクチンの接種が相当進むことを考えると、来客数の回復が見込まれる。生鮮食品といった調理素材の動きの回復が期待される。
スーパー（店長）	・ワクチン接種率の上昇はプラス要因となるが、首都圏は東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるほか、衆議院議員選挙などによる国政の変化次第で、更に景気が後退する懸念がある。関西も首都圏の景気に左右される可能性が高く、予断が許されない。個人消費は、国内旅行の増加や海外旅行の復活、社会や学校行事、コンサートなどの回復が鍵となる。
スーパー（店長）	・ワクチン接種は進んでいるが、新型コロナウイルスの感染者数が減らずに、今のような状況が続けば、景気にも変化はない。
スーパー（店長）	・ワクチン接種は増えているものの、依然として新型コロナウイルスの感染者数が多いため、飲食や旅行、イベント関連は厳しい状況が続くと予想される。
スーパー（販売促進担当）	・ワクチン接種の完了時期が、秋～冬頃になったとしても、外食、観光産業が回復し、徐々に中食や内食から需要が戻るのは、22年度以降になると予測している。今から3か月後では、まだまだ現状の傾向が続いていると予想される。
衣料品専門店（経営者）	・ある程度、会合などの動きが元に戻るのには、ワクチン接種が進んだ11月以降と考えている。それまでは一定の影響が残る。
衣料品専門店（店長）	・7月に限らず、今年に入ってから緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返され、来客数は悪い状態のままである。3か月後には秋冬商戦ということもあり、期待しているが、8月からは緊急事態宣言が発出されるため、来客数はそれほど見込めない。一刻も早い、ワクチン接種率の上昇と、新型コロナウイルスの感染収束を願っている。
乗用車販売店（経営者）	・ワクチン接種は進まず、新型コロナウイルスの感染者数は増える一方である。たまに中古車は売れるが、勢いがいない。

家計動向関連	変わらない	住関連専門店（店長）	・営業への規制が長引き、また他の気候条件なども重なっているため、先行きは楽観できない。悪い状況のまま秋を迎えることも予想される。足元の客足の鈍さも、ワクチンの接種が遅れ、世間の不安が解消されていないことが原因の1つである。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まるかどうかで、景気は左右されるが、ワクチンの接種が国民全体に広がれば上向いていく。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・ワクチン接種の増加による不安の解消などで、人流が増えている。さらに、それに伴う新型コロナウイルスの感染者数の増加で、緊急事態宣言が発出されるなど、先が見えない。固定客に対していろいろな提案を行い、細々と販売を続けているが、以前のような売上には戻らない。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・ワクチン接種の拡大で、新型コロナウイルスの重症者数や死者数が減少し始めれば、消費のアップにつながる。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・ワクチン接種の開始後も、新型コロナウイルスの感染は拡大傾向にある。東京オリンピックの開催も無観客になるなど、状況は好転していない。緊急事態宣言の発出地域が拡大される可能性もあり、良くなる要素は見当たらない。ただし、生活必需品の動きについては、現状維持が続くと予想される。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・ワクチン接種の拡大による、来客数の増加を期待したい。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・まん延防止等重点措置による事業活動の制限が続いているほか、新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあるため、現時点で将来に明るい見通しを持つことができない。全世代へのワクチン接種が早期に実現することを切に願っている。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・東京オリンピックの開催で経済が動いていることは体感できている。このままワクチン接種と新型コロナウイルスの感染の抑制が進み、日常を取り戻す動きが活発化すれば、景気は上向きとなるが、現時点では判断が難しい。
やや悪くなる		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・ワクチン接種の進捗や、新型コロナウイルスの感染者数、重症者数の動向次第である。
		百貨店（マネージャー）	・ワクチン接種の年代は広がるものの、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大や、中間層の消費意欲の減退などで、積極的な消費は見込めない。
		百貨店（宣伝担当）	・月末に掛けて新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向になったほか、ワクチンの接種がなかなか進まないことから、主要客層である40代以上の客足が再び鈍くなっている。夏休みでも帰省や外出を控える人が多く、関連消費の伸び悩みも予想される。
		乗用車販売店（販売担当）	・ワクチン接種の鈍化や、4度目の緊急事態宣言の発出など、景気回復を期待するには厳しすぎる環境である。
悪くなる		一般レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、飲食業への販売制限が更に厳しくなる。ワクチンの接種が進み、感染者数に変化が出るまでは、厳しさが増すと予想される。
		一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・ワクチンの接種が進まない。
企業動向関連	やや良くなる	繊維工業（団体職員）	・ワクチン接種が進むにつれて、いろいろな物が動き出す。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・ワクチン接種が更に進み、ようやく景気回復の期待も出てきている。今後は業種を問わず、景気が全体的にやや良くなると予想される。
	金融業（副支店長）	・今後3か月で、ワクチン接種率もかなり上がると予想され、徐々に景気は回復していくことが予想される。	
	変わらない	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・ワクチンの接種が進む一方、東京を中心とした新型コロナウイルスの感染者数の急増が、やがて関西にも波及してくる。東京オリンピックの開催に伴う、海外からの渡航者による感染が追い打ちを掛けないことを祈る。
その他非製造業〔商社〕（営業担当）		・東京オリンピック・パラリンピックが終了した後の、新型コロナウイルスの感染状況次第となる。ワクチン接種が進んだ後にどうなるのかが不透明であり、現状は何とも言いようがない。	

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		19年			20年							21年														
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
現状判断	近畿	45.1	44.6	47.6	36.5	37.4	38.0	42.4	26.1	14.7	8.3	19.6	39.3	42.0	43.4	46.7	49.2	39.9	31.7	31.7	42.4	49.8	33.3	38.2	49.3	49.7
	(全国)	42.7	43.0	44.9	35.9	37.2	38.3	41.9	27.9	14.9	9.4	17.0	40.0	42.2	43.7	47.8	53.0	43.8	34.3	31.2	41.3	49.0	39.1	38.1	47.6	48.4
先行き判断	近畿	45.9	43.2	37.2	44.2	46.1	45.2	40.4	25.3	20.0	20.2	39.6	42.5	34.6	42.8	44.9	44.4	33.9	37.6	38.4	51.6	46.9	39.2	50.1	50.3	46.2
	(全国)	45.1	40.9	36.8	43.1	44.5	44.6	41.4	24.8	19.8	17.9	37.9	44.6	36.7	42.9	47.1	47.7	35.0	36.1	39.9	51.3	49.8	41.7	47.6	52.4	48.4

※季節調整値